



FA-KART RACING TEAM

ALL JAPAN KART CHAMPIONSHIP ROUND4

2019/10/03-10/06 SPORTS LAND SUGO WEST COURSE

3ヶ月のインターバルを経て、全日本カート選手権は東北の地、スポーツランド SUGO 西コースで Round4 が開催された。距離は短い、高速テクニカルな SUGO。シャーシ性能とセットアップ、タイヤのグリップや磨耗が注目されがちだが、意外なほどに全開区間も多く、エンジンのピックアップパワーも重要なコースである。



タイムトライアル

今回はフリー走行からタイムアタックにおいてのベストラップが上位と差があり、このタイムトライアルでは苦戦が予想された。A グループの出走の伊藤は、上位が 37 秒台の前半のタイムを刻むところ、37 秒台に入るのがやっとであった。結果はグループ 13 位の、総合では 23 位と完全に出遅れてしまった。



第7戦

ベストラップでは苦戦した伊藤であったが、タイヤの磨耗を含むレースペースではまずまずの自信があった。予選ではスタートの展開が悪く、序盤は我慢のレースになったが、後半からライバルのペースが落ちるところ、こちらの落ち幅は少なくペースも逆転し 17 位フィニッシュ。決勝でも同じような展開で中盤から後半に追い上げる。他社のタイヤのもちがさらによく、思ったように順位を上げられなかったが、最終的に 13 位でフィニッシュした。ベストラップはタイムトライアルの際は 0.7 秒あったが、決勝では優勝したドライバーと 0.2 秒差とかなり縮まり、レースペースにおいてのシャーシの仕上がりの良さは確認できた。





FA-KART RACING TEAM

ALL JAPAN KART CHAMPIONSHIP ROUND4

2019/10/03-10/06 SPORTS LAND SUGO WEST COURSE

第 8 戦

第 7 戦においてタイヤ磨耗によるレースペースで有利なことを確認できたので、この第 8 戦ではかなり攻めたレースが挑めた。しかし、順調にポジションを上げた伊藤はエンジントラブルにより戦線を離脱してしまう。決勝は 22 番手からハイペースで追いつき、レースの後半には 10 位争いを展開。激しいバトルの結果、無念のコースアウトで脱落。完走は果たしたものの悔しい 25 位フィニッシュとなった。



No.27 伊藤琢磨

「今回のレースは最後に楽観的にいってしまいコースアウトしてしまいました。タイヤのマネジメントはうまくできたと思いますので、最終戦では気を引き締めて頑張りたいと思います。」

チームマネージャー 原田稔一

「ベストラップがうまく出せず、タイムトライアルで上位に進出できなかった理由を見つけ、レース序盤からもう少し有利な展開にもっていきやすいようにしないといけません。レースペースはドライバーとシャーシセットアップがうまく機能したと思います。いいところを伸ばし、足りない部分を改善できるよう、最終戦に挑みたいと思います。」

